

ケアラー実態調査結果

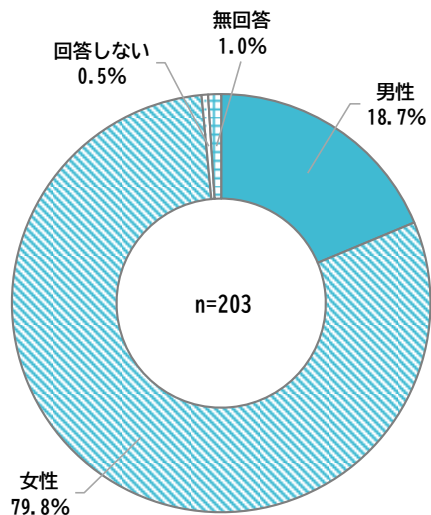
②障がい児・者をケアしている方

令和7年(2025年)11月
北海道保健福祉部福祉局

問1 ケアをしているあなた自身のことを教えてください。

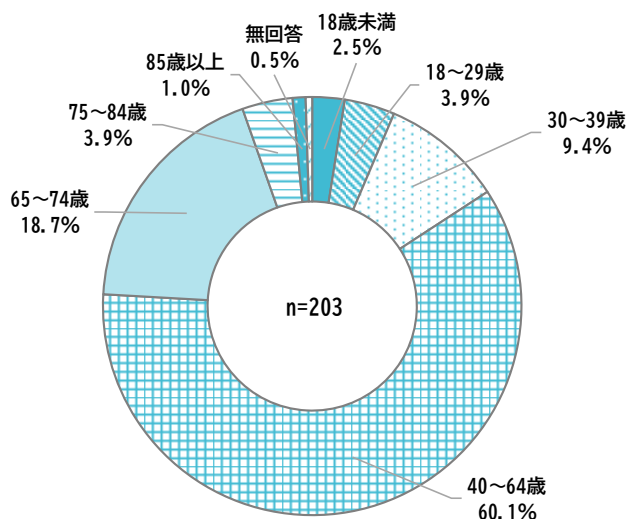
(1) あなたの性別を教えてください。

ケアラー本人の性別をみると、「女性」が79.8%、「男性」が18.7%であった。



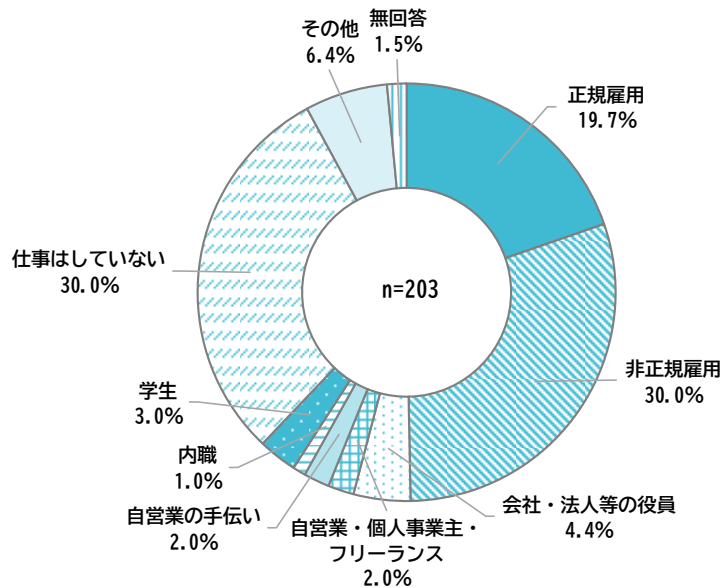
(2) あなたの年齢は何歳ですか。(令和7年4月1日時点)

ケアラー本人の年齢をみると、「40～64歳」が60.1%で最も高く、次いで「65～74歳」が18.7%であった。



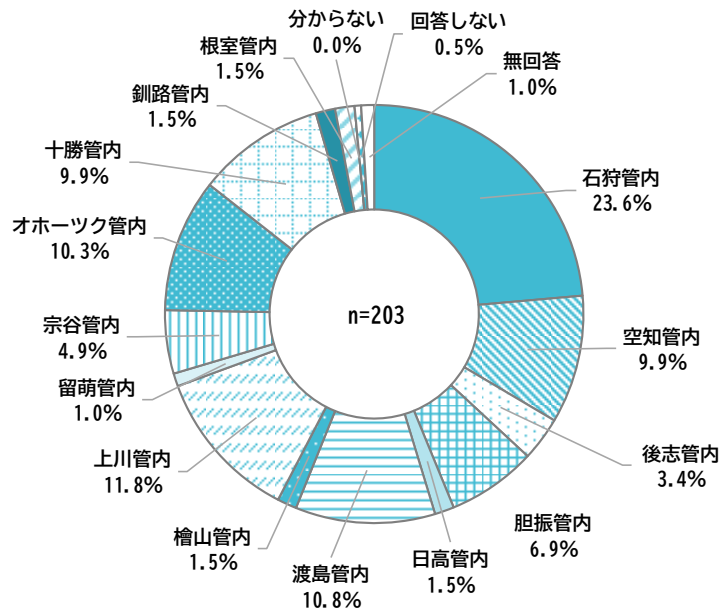
(3) あなたの就業形態（主なお仕事）について教えてください。

ケアラー本人の就業形態をみると、「仕事はしていない」が30.0%で最も高く、次いで「非正規雇用」が30.0%であった。



(4) あなたが、お住まいの地域はどこですか。

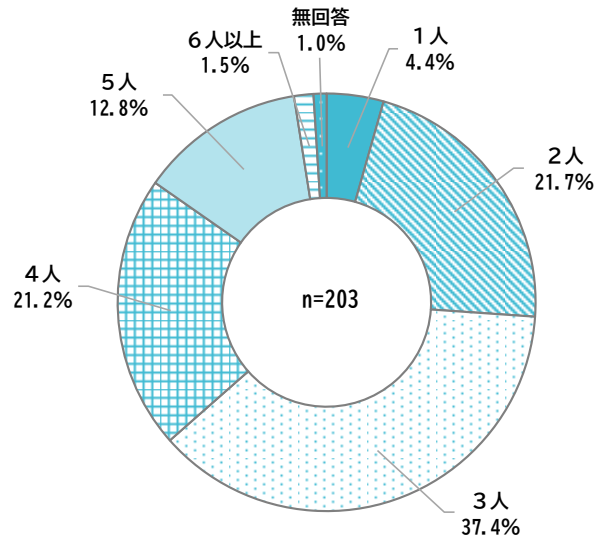
ケアラー本人の居住地をみると、「石狩管内」が23.6%で最も高く、次いで「上川管内」が11.8%であった。



問2 あなたの家族のことを教えてください。

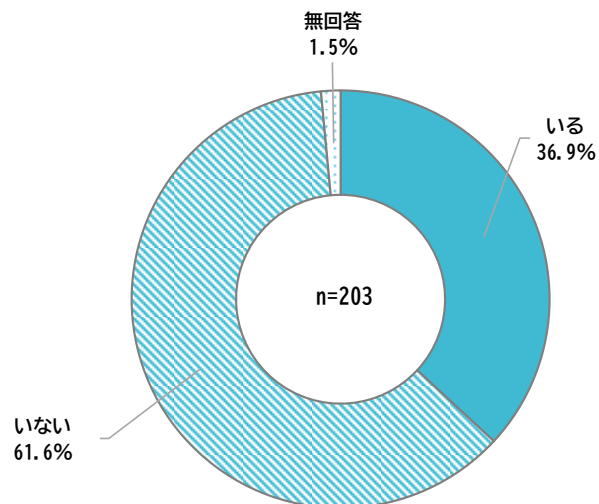
(5) あなたは、何人世帯ですか。

ケアラーの世帯人数をみると、「3人」が37.4%で最も高く、次いで「2人」が21.7%であった。



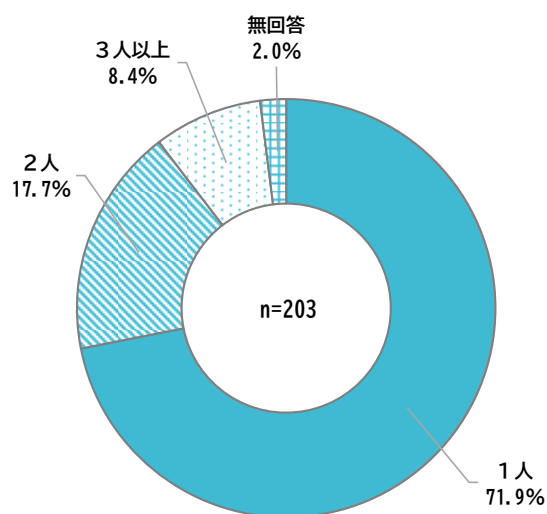
(6) あなたには、同居している18歳未満のお子さんはいますか。

同居している18歳未満のこどもは、「いる」が36.9%、「いない」が61.6%であった。



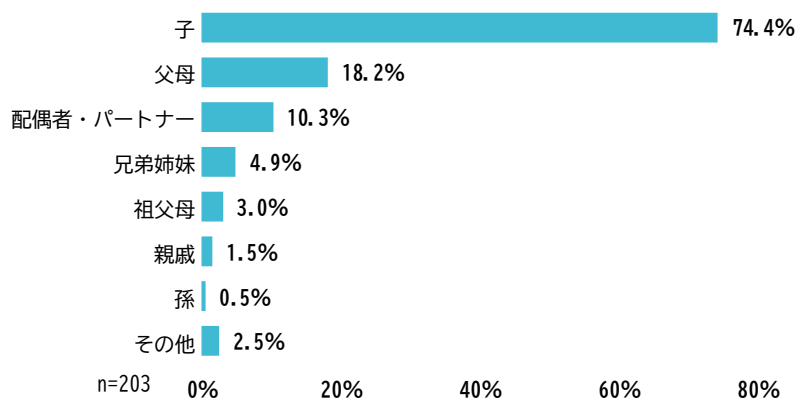
(7) あなたが、ケアをしている人は何人いますか。(高齢、障がい、疾病等を問いません)

ケアをしている人数をみると、「1人」が71.9%で最も高く、次いで「2人」が17.7%であった。



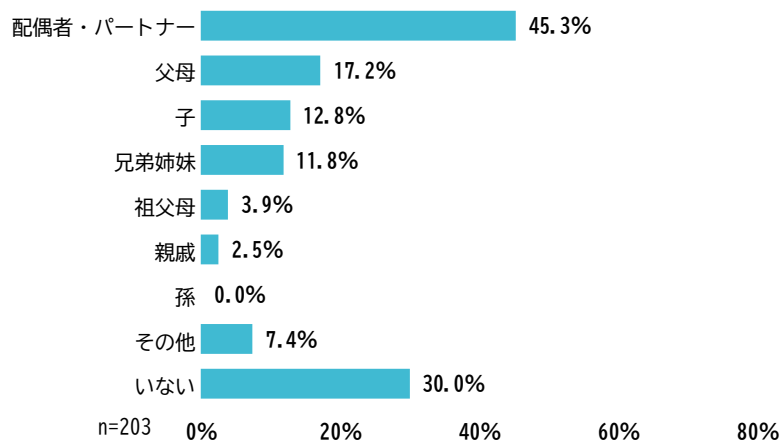
(8) あなたから見て、その人はどのような関係ですか。(いくつでも)

ケアしている人の関係をみると、「子」が74.4%で最も高く、次いで「父母」が18.2%であった。



(9) あなたには、日常的にケアを分担してくれる人はいますか。(いくつでも)

日常的にケアを分担してくれる人の状況を見ると、「配偶者・パートナー」が45.3%で最も高く、次いで「いない」が30.0%であった。

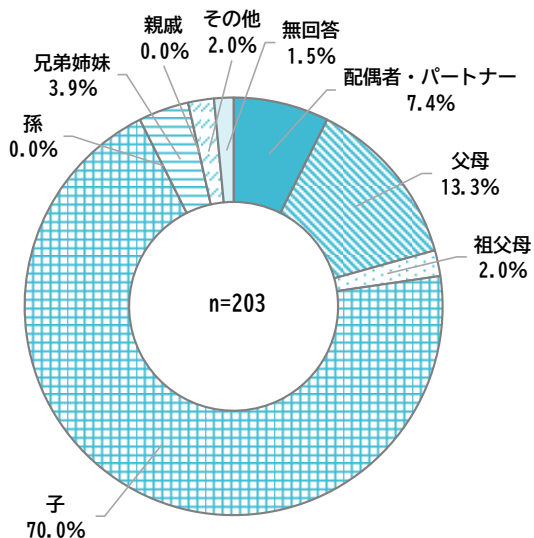


問3 あなたがケアをしている人のことを教えてください。

※ケアが必要な人が2人以上いる場合は、ケアが一番必要な人

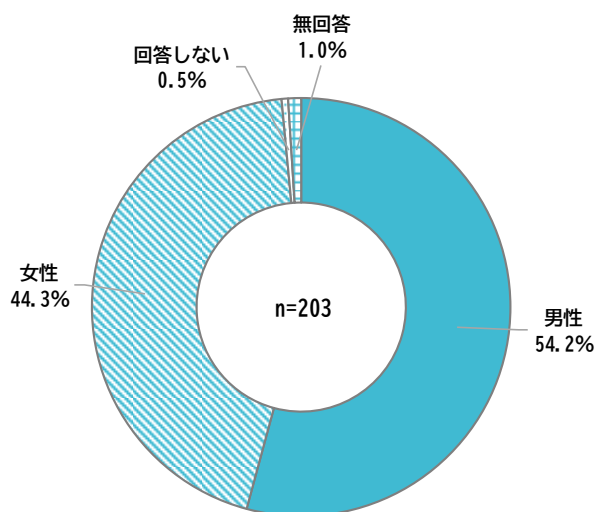
(10) あなたから見て、ケアをしている人はどのような関係ですか。

ケアしている人の関係をみると、「子」が70.0%で最も高く、次いで「父母」が13.3%であった。



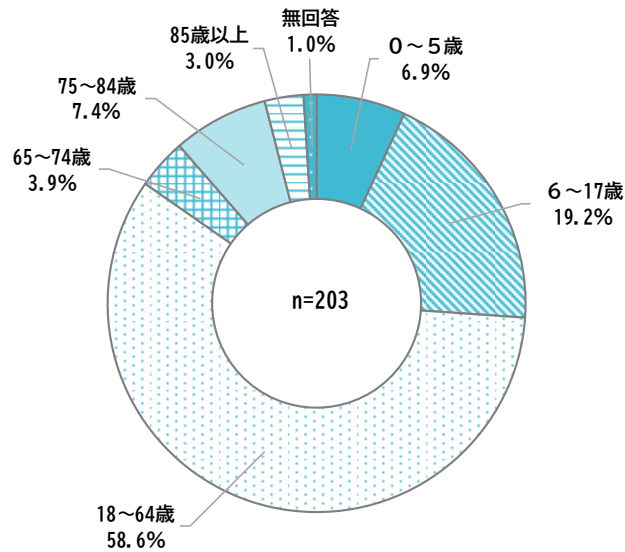
(11) その人の性別を教えてください。

ケアしている人の性別をみると、「男性」が54.2%、「女性」が44.3%であった。



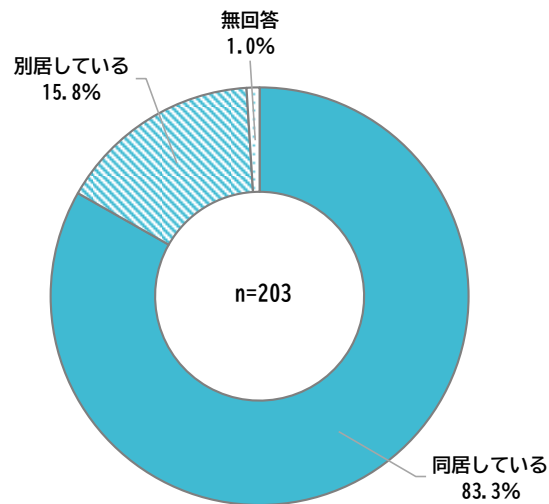
(12) その人の年齢は何歳ですか。(令和7年4月1日時点)

ケアを必要としている人の年齢をみると、「18～64歳」が58.6%で最も高く、次いで「6～17歳」が19.2%であった。



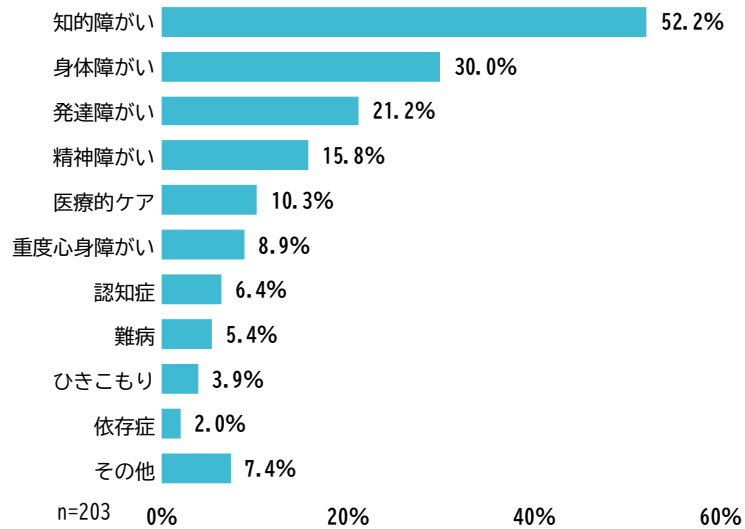
(13) あなたは、あなたがケアをしている人と同居していますか。

ケアしている人との同居・別居の状況をみると、「同居している」が83.3%で、「別居している」が15.8%であった。



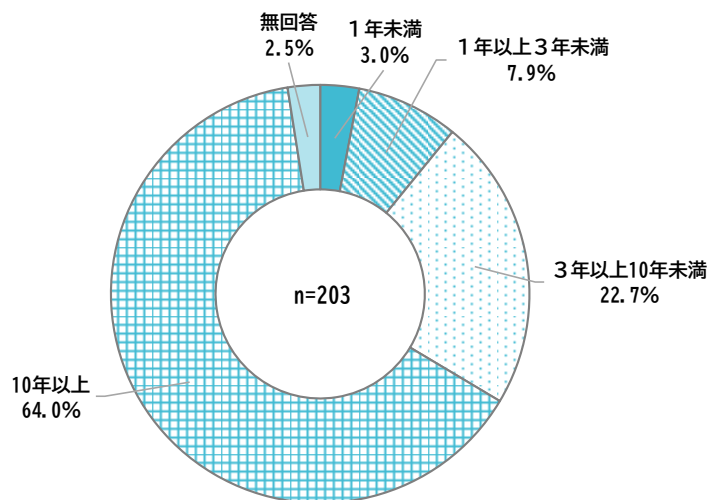
(14) その人にケアが必要な理由は何ですか。(いくつでも)

ケアが必要な理由をみると、「知的障がい」が52.2%で最も高く、次いで「身体障がい」が30.0%であった。



(15) あなたは、何年くらいその人のケアをしていますか。(令和7年4月1日時点)

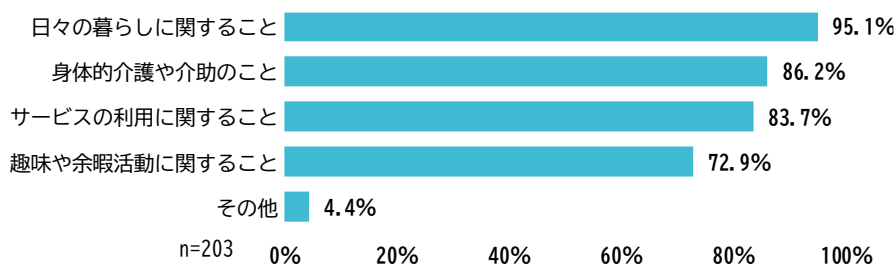
ケアの期間をみると、「10年以上」が64.0%で最も高く、次いで「3年以上10年未満」が22.7%であった。



(16) あなたが、ケアをしている内容は何か。(いくつでも)

【分類別】

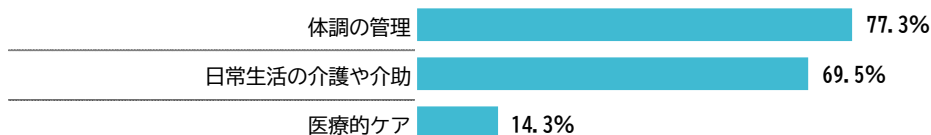
ケアの内容を分類別にみると、「日々の暮らしに関すること」が95.1%で最も高く、次いで「身体的介護や介助のこと」が86.2%であった。



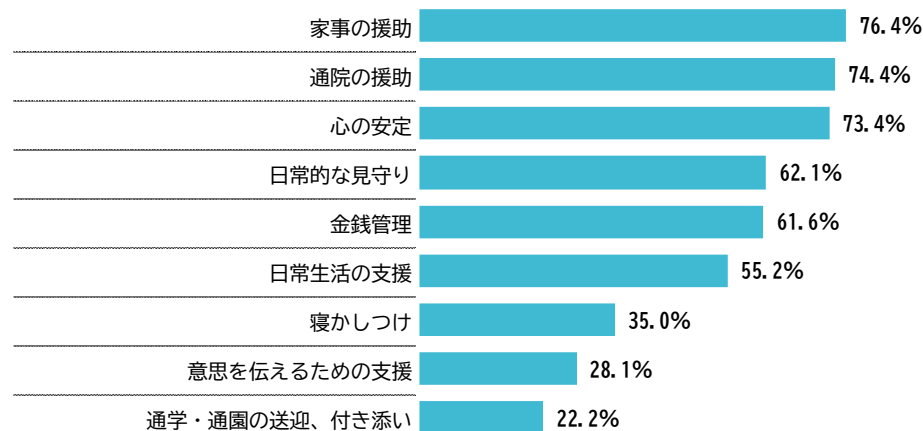
【選択肢別】

ケアの内容を選択肢別にみると、「体調の管理」が77.3%で最も高く、次いで「家事の援助」が76.4%であった。

〈A 身体的介護や介助のこと〉



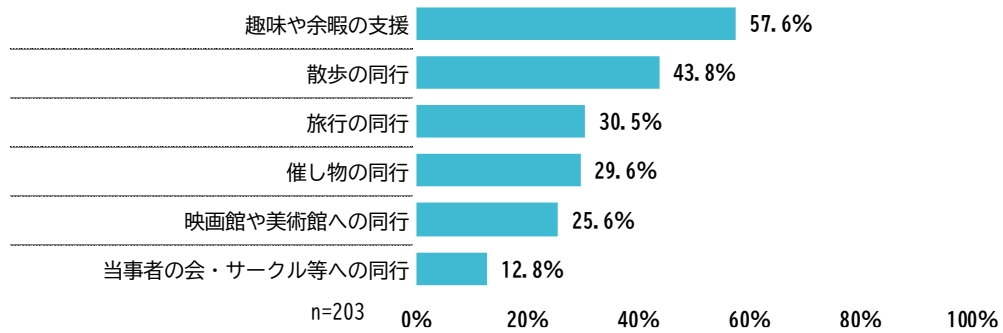
〈B 日々の暮らしに関すること〉



〈C サービスの利用に関すること〉

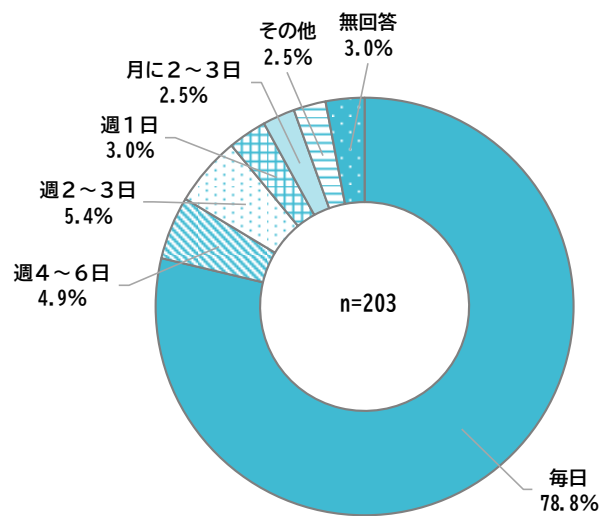


〈D 趣味や余暇活動に関すること〉



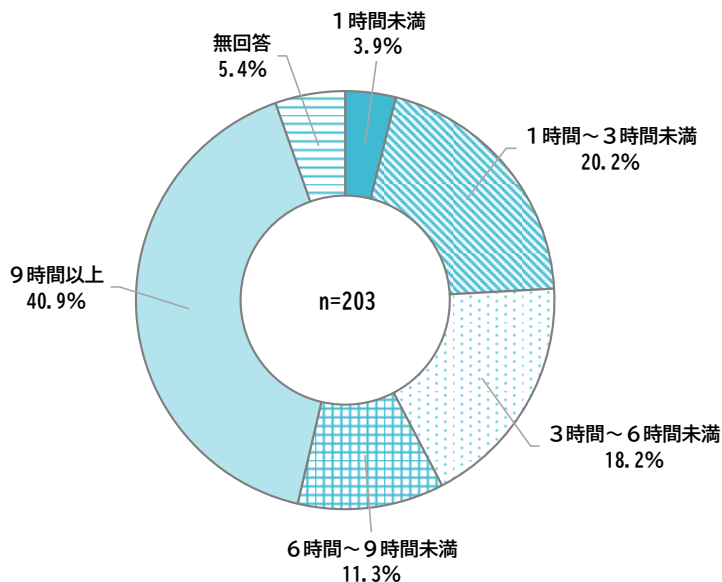
(17) あなたは、どのくらいの頻度でケアをしていますか。

ケアの頻度をみると、「毎日」が78.8%で最も高く、次いで「週2～3日」が5.4%であった。



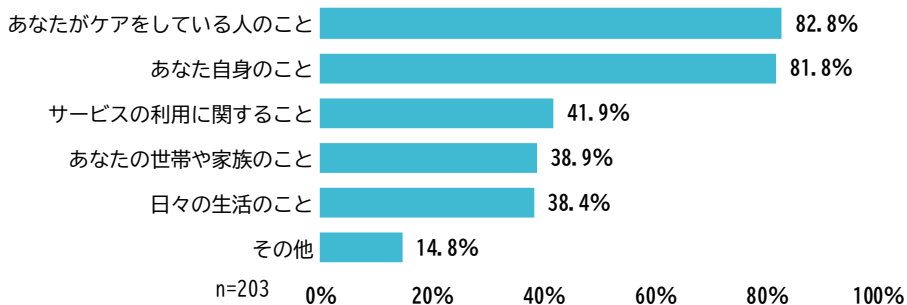
(18) この1ヶ月の中で、ケアをする時間が最も多かった日は、どのくらいの時間（1日の合計）をケアにかけましたか。

1日あたりのケアにかける時間をみると、「9時間以上」が40.9%で最も高く、次いで「1時間～3時間未満」が20.2%であった。



(19) あなたが、ケアで悩んでいることや、困っていることはありますか。（いくつでも）
【分類別】

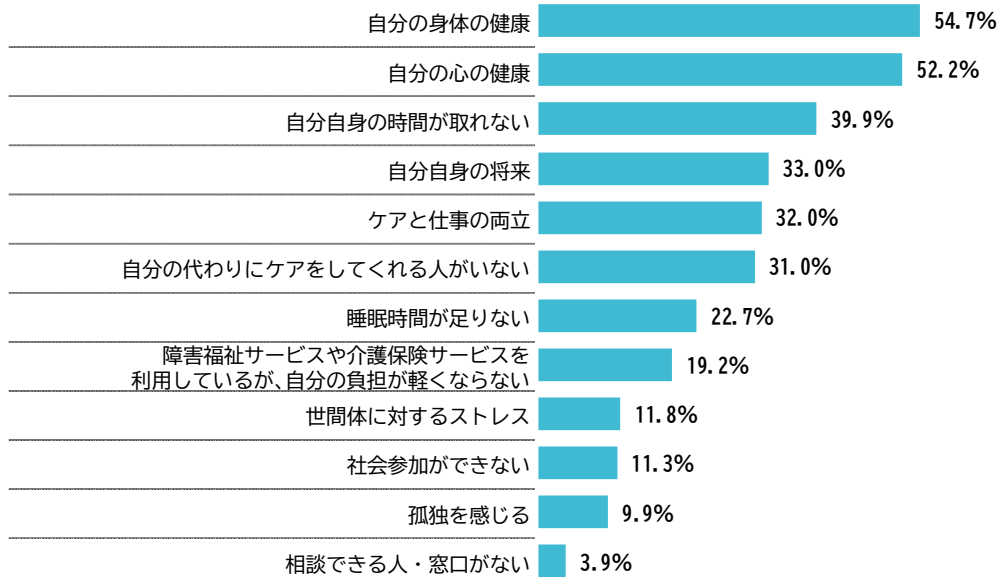
悩みを分類別にみると、「あなたがケアをしている人のこと」が82.8%で最も高く、次いで「あなた自身のこと」が81.8%であった。



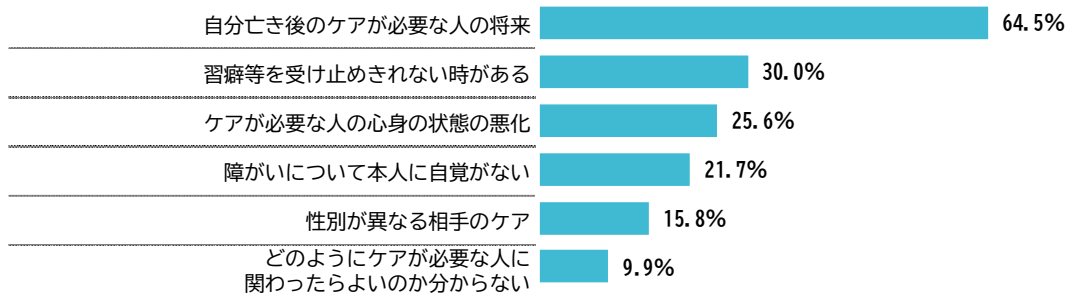
【選択肢別】

悩みを選択肢別にみると、「自分亡き後のケアが必要な人の将来」が64.5%で最も高く、次いで「自分の身体の健康」が54.7%であった。

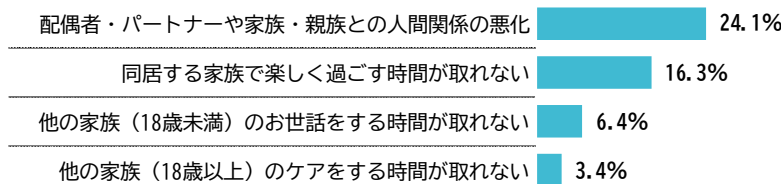
〈A あなた自身のこと〉



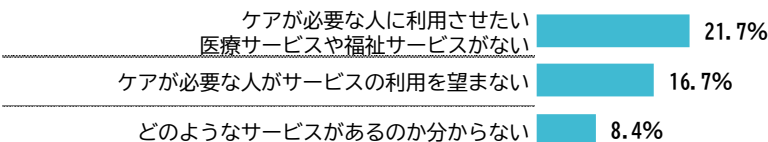
〈B あなたがケアをしている人のこと〉



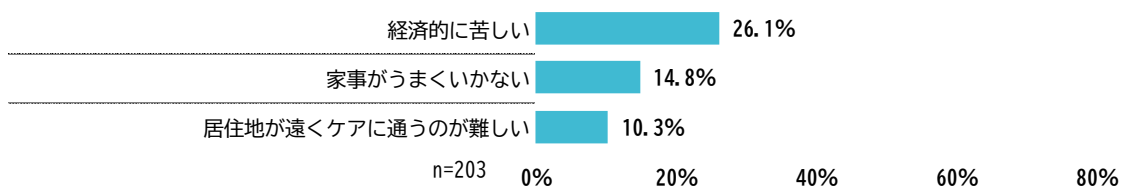
〈C あなたの世帯や家族のこと〉



〈D サービスの利用に関すること〉

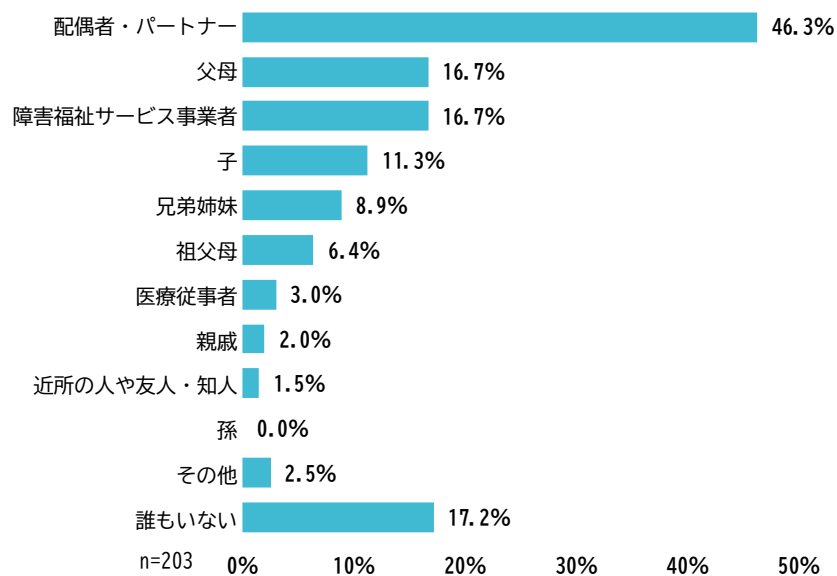


〈E 日々の生活のこと〉



(20) あなたが体調の悪い時など、あなたの代わりにケアをしてくれる人は誰ですか。
(いくつでも)

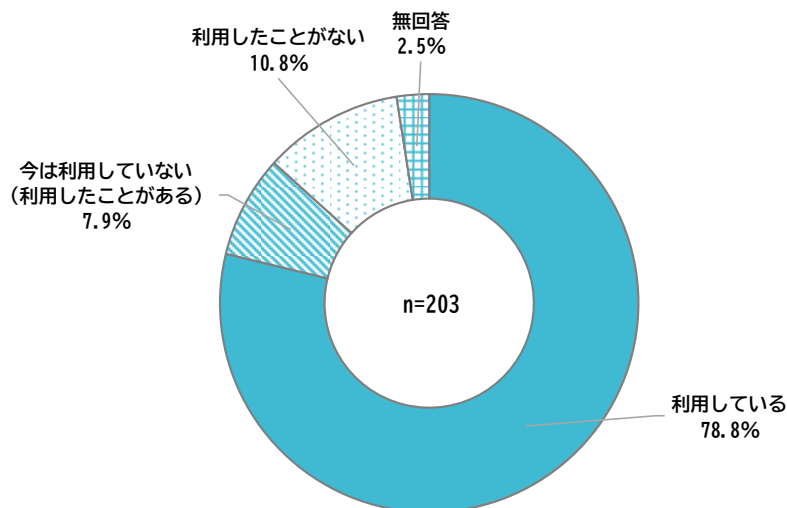
体調が悪い時など、代わりにケアしてくれる人を見ると、「配偶者・パートナー」が46.3%で最も高く、次いで「誰もいない」が17.2%であった。



問4 あなたがケアしている人のサービス（公的支援・制度）利用について教えてください。

(21) あなたがケアをしている人は、障害福祉サービスなどの公的支援を利用していますか。

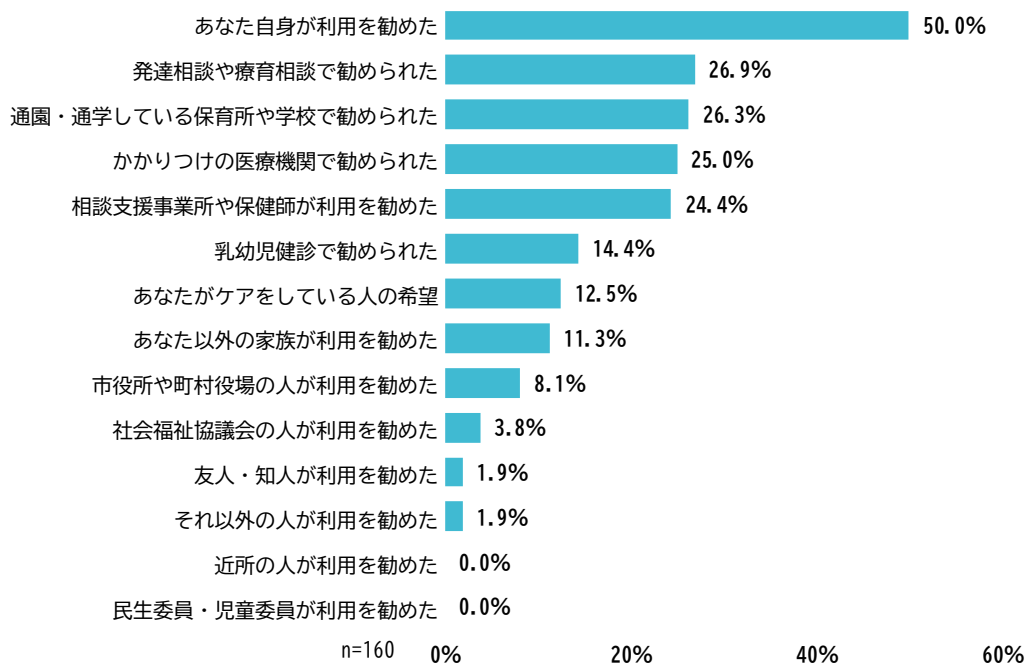
サービス利用の状況を見ると、「利用している」が78.8%で最も高く、次いで「利用したことがない」が10.8%であった。



(22) サービスを利用するきっかけとなったのは、どのようなことですか。（いくつでも）

サービス利用のきっかけの状況を見ると、「あなた自身が利用を勧めた」が50.0%で最も高く、次いで「発達相談や療育相談で勧められた」が26.9%であった。

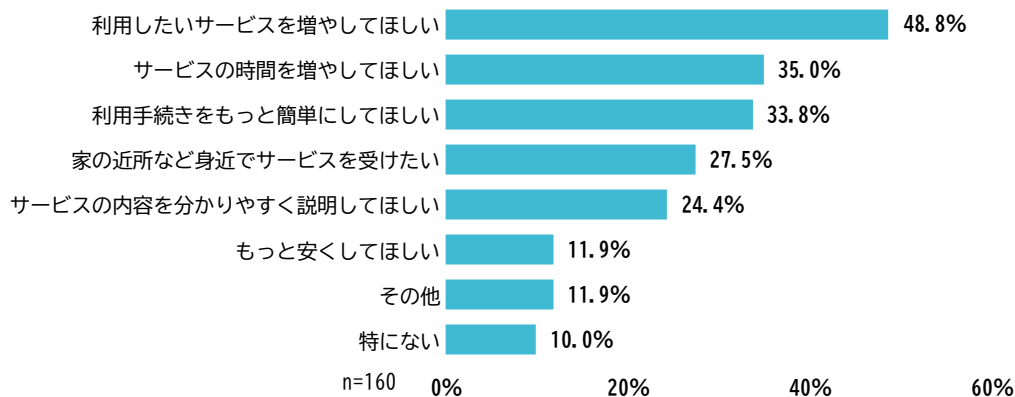
※ (21) で「利用している」と回答した方への限定設問



(23) 今よりサービスを利用しやすくするためには、どのような配慮が必要ですか。(いくつでも)

サービス利用に必要な配慮をみると、「利用したいサービスを増やしてほしい」が48.8%で最も高く、次いで「サービスの時間を増やしてほしい」が35.0%であった。

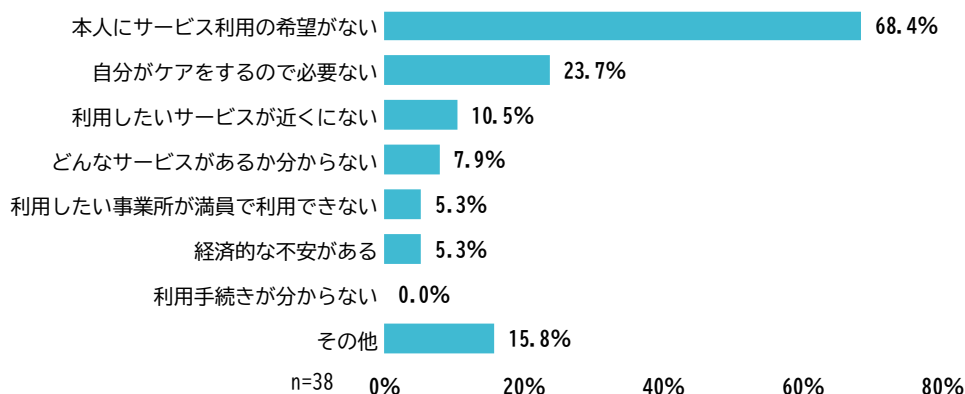
※ (21) で「利用している」と回答した方への限定設問



(24) サービス事業所を利用していない(利用したことがない)理由は何ですか。(いくつでも)

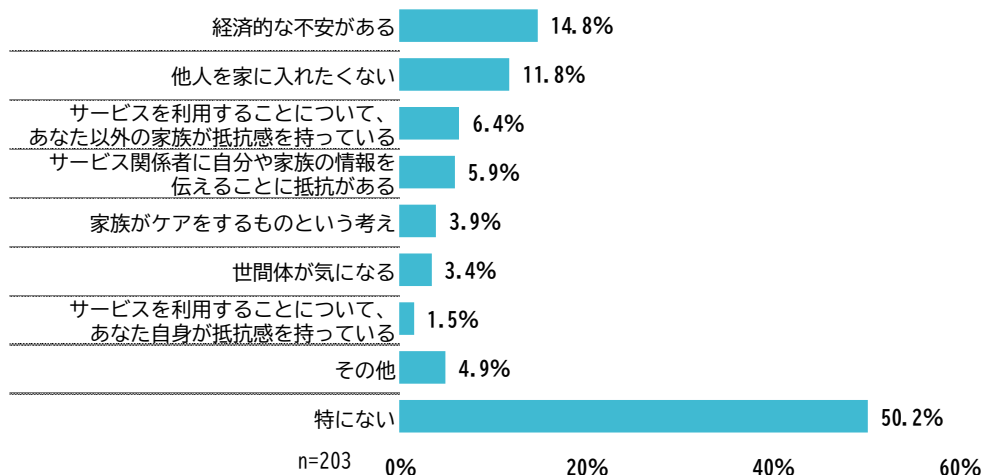
サービスを利用していない理由をみると、「本人にサービス利用の希望がない」が68.4%で最も高く、次いで「自分がケアをするので必要ない」が23.7%であった。

※ (21) で「今は利用していない」「利用したことがない」と回答した方への限定設問



(25) サービスの利用について、次のような抵抗感がありますか。(いくつでも)

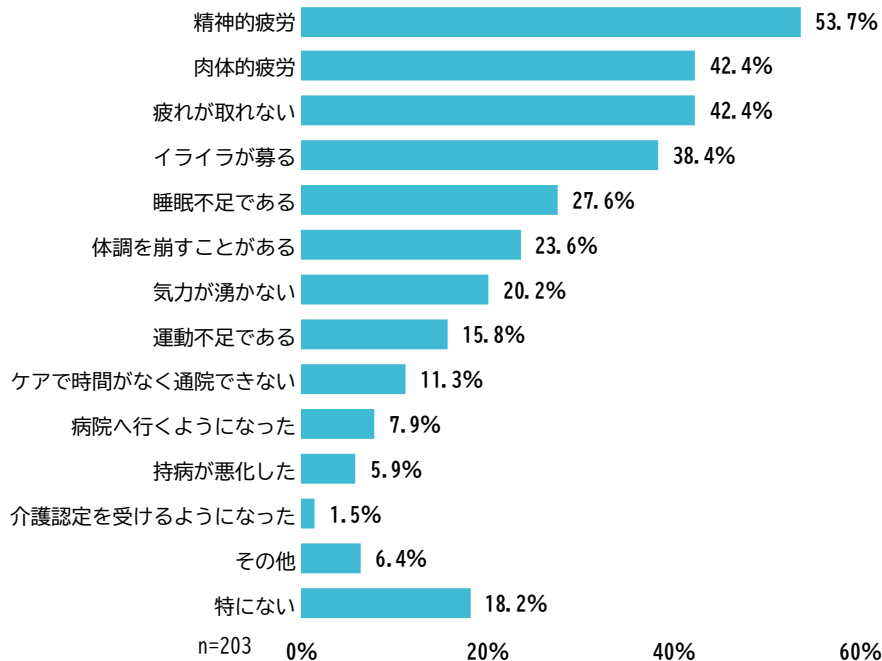
サービス利用の抵抗感をみると、「特にない」が50.2%で最も高く、次いで「経済的な不安がある」が14.8%であった。



問5 あなたの生活状況などを教えてください。

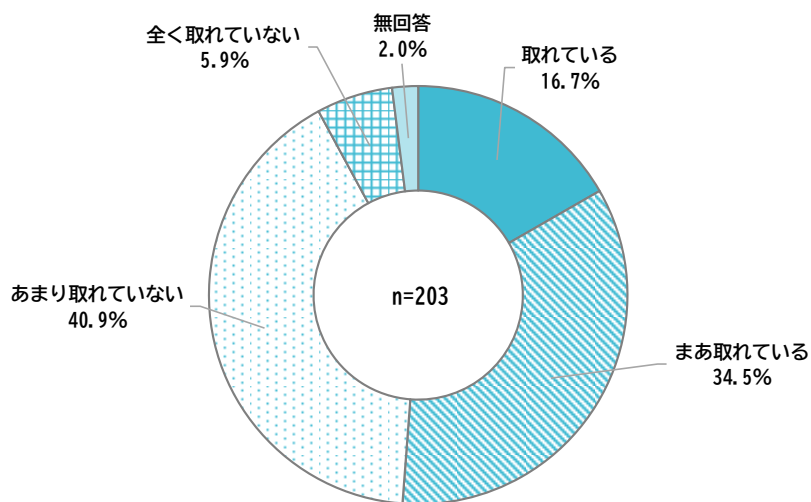
(26) ケアをすることで、あなたの健康状態に、以下のようなことはありますか。(いくつでも)

ケアすることによる健康状態への影響をみると、「精神的疲労」が53.7%で最も高く、次いで「肉体的疲労」と「疲れが取れない」が42.4%で同率であった。



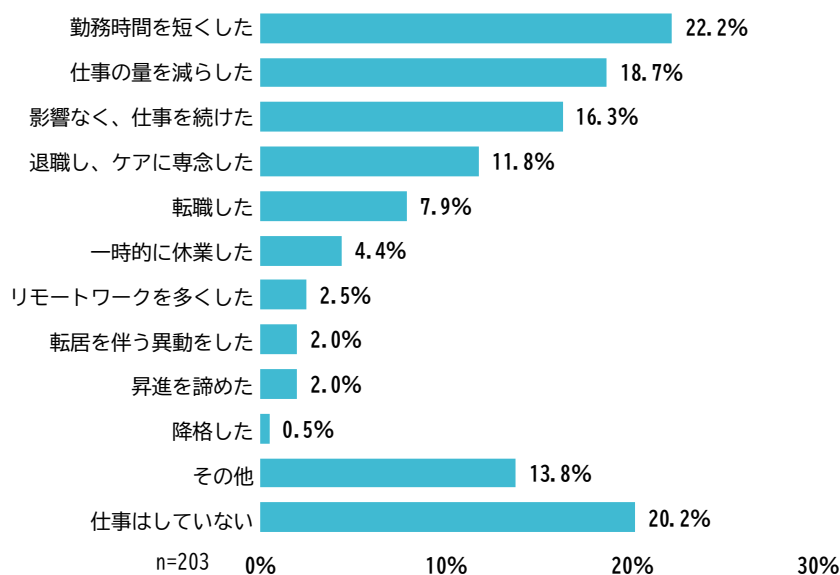
(27) あなたは、自分のための時間（趣味や休息など）を十分に取れていますか。

自分のための時間がとれているかをみると、「あまり取れていない」が40.9%で最も高く、次いで「まあ取れている」が34.5%であった。



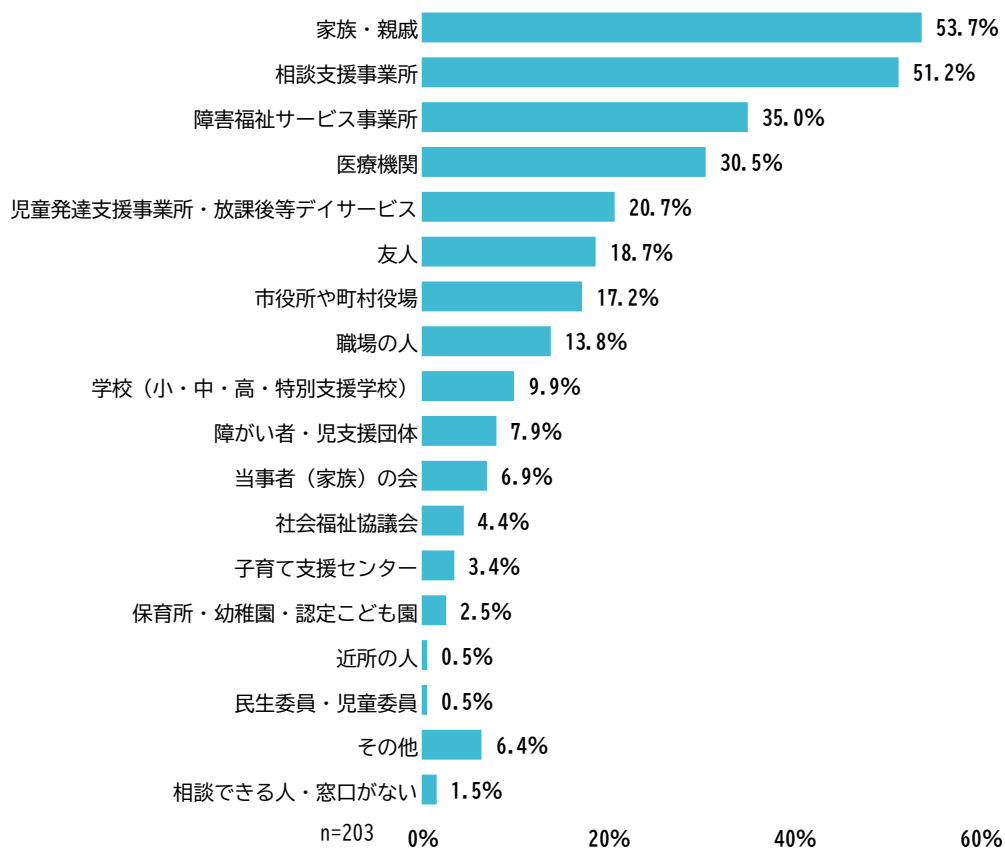
(28) ケアをすることで、あなたの仕事に影響したことはありましたか。(いくつでも)

ケアすることによる仕事への影響をみると、「勤務時間を短くした」が22.2%で最も高く、次いで「仕事はしていない」が20.2%であった。



(29) あなたが頼りにしている相談先や窓口などを教えてください。(いくつでも)

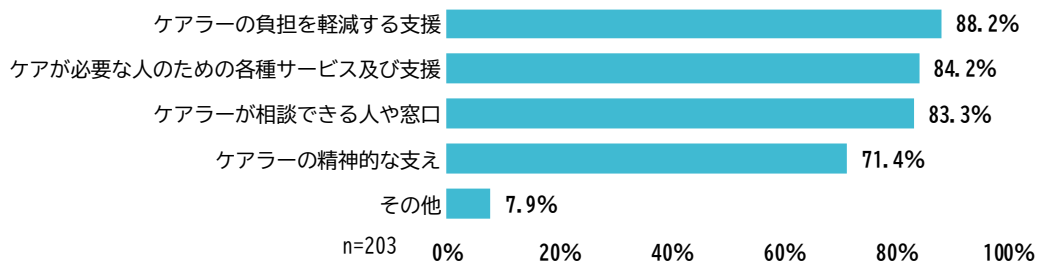
ケアラーの相談先の状況をみると、「家族・親戚」が53.7%で最も高く、次いで「相談支援事業所」が51.2%であった。



(30) あなたを含めてケアラーを支えるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(いくつでも)

【分類別】

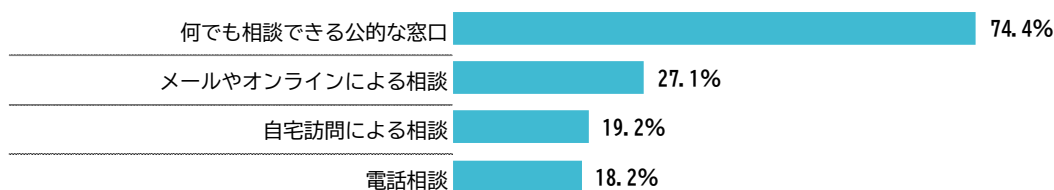
必要な支援の状況を分類別にみると、「ケアラーの負担を軽減する支援」が88.2%で最も高く、次いで「ケアが必要な人のための各種サービス及び支援」が84.2%であった。



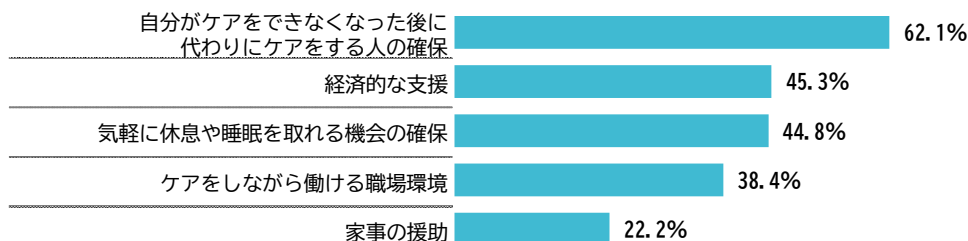
【選択肢別】

必要な支援の状況を選択肢別にみると、「何でも相談できる公的な窓口」が74.4%で最も高く、次いで「緊急時でも安心して預かってくれる場所」が65.0%であった。

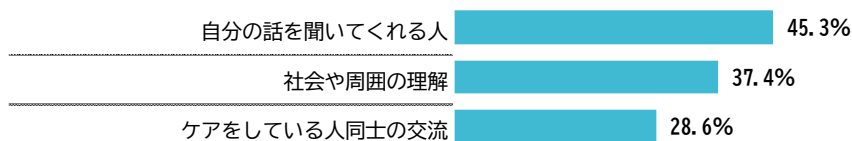
〈A ケアラーが相談できる人や窓口〉



〈B ケアラーの負担を軽減する支援〉



〈C ケアラーの精神的な支え〉



〈D ケアが必要な人のための各種サービス及び支援〉

